

1. 普及広報の展開について

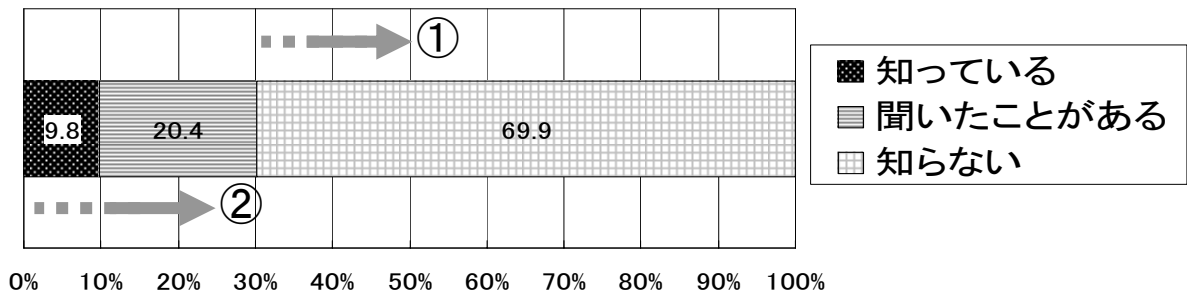
(1) 普及広報のメインターゲット

● 生物多様性の普及広報のメインターゲットは、一般国民とする。

(2) 生物多様性の認知率についての目標

- 「第3次生物多様性国家戦略」における数値目標
生物多様性という言葉を知っている・聞いたことがある人の割合
2004年 30% → 2011年度末 50%以上
- 「聞いたことがある」から「知っている」へ
- 「知っている」から「行動している」へ

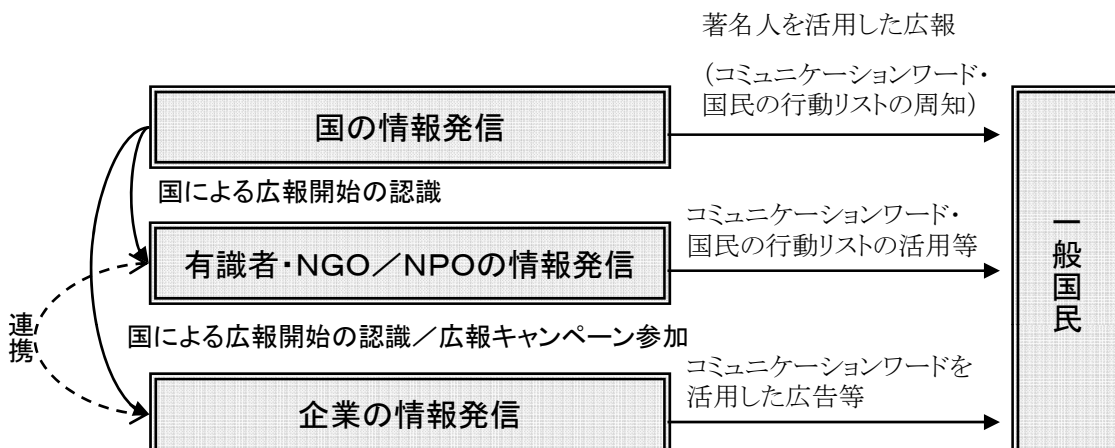
■ 環境に関する意識調査(平成16年3月)環境省調べ



(3) 目標達成のための施策(2008年度～)

- ・ 上記①の達成のために、「コミュニケーションワード」を活用する。
 - ・ 上記②の達成のために、「国民の行動リスト」を「コミュニケーションワード」とあわせて活用する。
 - ・ 著名人の広報部隊を結成し、「コミュニケーションワード」や「国民の行動リスト」を発信する。
 - ・ このほかにも、国をはじめとする各主体の情報発信、情報共有を促進する。
- ※ 2008年度の取組についてはP7に記載

(4) 一般国民(広報対象)への情報伝達経路の考え方



2. コミュニケーションワードについて

(1) コミュニケーションワードに盛り込むべき内容について

- コミュニケーションワードは、多様な主体がそれぞれに行う活動を一つのものとしてつなぎ、より大きく見せるための“目印”であるため、一つであるべきと考える。

- 国が進める他の環境政策におけるコミュニケーションワードとのバランスを考慮すると、前向きに行動を呼びかけていくような言葉であることが望ましい。

- a) 低炭素社会 …… チームマイナス6% – みんなで止めよう温暖化
- b) 循環型社会 …… 3R(リデュース、リユース、リサイクル)
- c) 自然共生社会 ……

- ・ より多くの主体に積極的に活用していただくためには、恐怖を与えるようなネガティブなメッセージは好ましくないと考える。
- ・ コミュニケーションワードにより、生物多様性の認知度を高める一方で、報道や国からの情報提供を通じ、国民へ危機感が醸成されることも必要である。

(2) 具体的なコミュニケーションワード案

①

生きものたちは未来への可能性

②

生命の個性は、地球の財産

③

生きものたちのSOS

④

絶滅に、ブレーキを

⑤

絶滅から、未来を救おう

⑥

地球のいのち、つないでいこう

⑦

もう一度、いのち豊かな地球へ

3. 国民の行動リストについて

(1) 国民の行動リストの検討に当たっての視点

- 完成したリストは、各項目が生物多様性の保全及び持続的な利用に関連づけられている必要がある。
- リストは正しい知識に基づくものとし、マイナスの影響を持ってはならない。
- 「〇〇するな」ではなく、「〇〇しよう」という呼びかけ型のリストとする。
- 3Rや温暖化対策ではなく、生物多様性のためのリストであることがわかりやすいものとする。
- 地方や主体等によって異なり、多岐にわたる取組と、簡潔さのバランスをとる必要がある。

(2) 国民の行動リストの構成の考え方

- 5つのステップに分け、各ステップに対して具体的な項目をぶら下げる構成とする。

・5つのステップは、以下のような流れを念頭に設定する。

- ①体験を通じて関心を持ってもらい、
- ②学び、知ってもらい、
- ③環境保全等の活動に参画してもらう

・国民は、自分が取り組みやすい項目を選んで自分なりの行動リストを作成できるようにし、それらを行動できれば、また別の項目に、次のステップへと取り組んでいくことができるようにする。

(3) 国民の行動リストの発信及び今後の展開について

- 今後、さらに国民の行動リストを拡充していくものとする。
- Web上に国民の行動リストを掲載し、国民がそれを閲覧し、「My行動リスト」を登録(又は印刷)できるようにする。
- 国・地方、企業、NGO/NPO、教育・学術団体の各主体ごとに具体化された行動リストの作成を働きかける。(各主体ごとの行動リストは、各主体自らの活動を向上するための内容をはじめ、国民の行動リストを支援する内容も含めるものとする。)
- 各地方において、地方毎に具体化されたリスト(県民・市民の行動リスト等)の作成を促進する。

(4)国民の行動リスト(案)

1 自然の中で遊ぼう。

- ・公園で遊ぼう。
- ・ピクニックやハイキング、キャンプに出かけよう。
- ・野菜や花を育ててみよう。
- ・虫取りや魚釣り、花摘みをしよう。
- ・お花見、お月見、紅葉狩りなどで季節を楽しもう。

2 生物多様性を学ぼう。

- ・図鑑を見よう。
- ・動物園、水族館、植物園で学ぼう。
- ・身近な生きものを観察して、記録してみよう。
- ・エコツアー(ガイドによる自然体験)に参加しよう。
- ・おじいちゃんやおばあちゃんたちから、自然の知恵を学ぼう。

3 生物多様性を守ろう。

- ・自然保護活動に参加しよう。
- ・ペットは責任を持って最後まで飼おう。
- ・ごみのポイ捨てをやめよう。
- ・水をきれいに、大切に使う。
- ・地球温暖化を防止して、生きものが住める環境を保とう。

4 生物多様性に配慮したものを選ぼう。

- ・旬のもの・地のものを選んで食べよう。
- ・無駄なものは買わないようにしよう。
- ・環境に配慮した商品を選ぼう。
- ・絶滅の危機にある生きものに影響するものは買わないようにしよう。
- ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)でものを大切にしよう。

5 自然と共生する社会を創ろう。

- ・「生物多様性」を知らない人に伝えよう。
- ・家族や友人と「生物多様性」を語ろう。
- ・学校や職場で「生物多様性」に取り組もう。
- ・「生物多様性」に取り組む企業を応援しよう。
- ・「生物多様性」に取り組む団体(NGO・NPOなど)を応援しよう。

4. 著名人を活用した広報について

(1) 広報部隊の名称について

- 「地球いきもの応援団」とする。

(2) 「地球いきもの応援団」団員の役割等

- 自らの発信能力を活用し、国民に対して、生物多様性に関する広報活動を行う。

- ・「地球いきもの応援団の〇〇氏」という形で、コミュニケーションワード及び国民の行動リストを各種機会に広報するとともに、自らの活動において「生物多様性」という言葉及びその他関連する情報を発信する。
- ・地球いきもの応援団のメンバーは、「国民の行動リスト」に掲げられた行動を自ら実践する。
- ・地球いきもの応援団は、2009年度以降の増員も検討する。

(3) 具体的なスケジュールについて

- ・「地球いきもの応援団」を結成するという事実及び具体的な団員名については、コミュニケーションワード及び国民の行動リストの公表と同時に公表する。
- ・「地球いきもの応援団」の団員は、2009年2月に開催する、環境省及び広報・参画推進委員会が主催する企業向けセミナーの場に初登場する。

(4) メンバーについて

※11月18日(予定)のプレスリリースまでは対外秘

名前(敬称略)	担当分野	担当行動リスト(イメージ)
大桃 美代子	里、農業	遊ぼう、選ぼう
さかなクン	川、海、魚	遊ぼう、学ぼう、守ろう
滝川クリステル	消費者、伝える人	選ぼう、創ろう
養老 孟司	森、虫	遊ぼう、学ぼう、創ろう

■今年度の広報スケジュール

2008年	11月	第2回広報・参画推進委員会（11/7）
		●コミュニケーションワード・行動リスト リリース ●「地球いきもの応援団」結成 リリース
		三井住友海上火災保険いきものがたり（11/26）
	12月	エコプロダクツ2008（12/11～13）
2009年	2月	民間企業セミナー（主催：環境省、広報・参画推進委員会） ●ロゴマーク発表、応援団登場
		メディアセミナー（主催：環境省、広報・参画推進委員会） （ローカルテレビ局、地方紙対象）

※ このほか、新聞やローカルテレビ局で特集や放送を随時企画予定。

■今年度の広報スケジュール(予定)(愛知県内)

1. COP10支援実行委員会主催

- (1) 生物多様性と農業～東三河地区における生物多様性保全～(仮題)

平成20年12月23日 13:30～16:30 開催予定(於 豊橋市)

- (2) 西三河地区における生物多様性保全(仮題)

平成21年2月頃開催予定(於 岡崎市(予定))

2. 愛知県主催

生物多様性キャラバンセミナー(県内20箇所で開催予定)

3. 愛知県及び名古屋市の広報

- (1) 愛知県広報誌「環境かわら版」(毎月上旬、市町村、環境関係機関等へ配布。1000部)へのCOP10関連記事の連載。
(2) 名古屋市広報誌「広報なごや」(毎月1日、全世帯配布。約100万部)への「なごや生物多様性歳時記」の連載(第1回は、11月1日号)。

[参考]COP10開催2年前イベント

- (1) 「生物多様性シンポジウム～知多地区における生物多様性保全～」(10月15日、COP10支援実行委員会主催)
(2) 「衣食住から考える企業と生物多様性」(10月17日、名古屋市立大学主催)
(3) 「なごや環境大学特別公開講座 コーヒーから考える生物多様性～サステイナブルコーヒーが地球を変える?～」(10月19日、なごや環境大学実行委員会、日本サステイナブルコーヒー協会主催)
(4) 「なごや環境学～命をつなぐ生物多様性～7回連続講座 第1回 命をつなぐ里山」(11月1日、なごや環境大学実行委員会主催、第2回は、11月15日(土)、最終回(第7回)は、平成21年2月14日)